

## リーディングDXスクール事業【実践事例】

嘉手納町立嘉手納中学校（沖縄県）【指定校】

## ＜校務利用＞ ⑤「学校評価（保護者）アンケートの分析」

校種	小・中・高	校務・授業	ChatGPT、Bing、Bard テキスト生成、画像生成、動画生成	実践タイトル:保護者アンケートの分析
<p><b>グループ1: 教育と指導方法</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ポジティブ: 先生方の努力が伝わる、楽しい学校生活が送れている。</li> <li>・ ネガティブ: 注意が繰り返されるが改善されない、中学校での小学校での教育手法の継続がない、テトルの利用方法が不明確。</li> </ul> <p>対応策: 教育方法の見直しを行い、小学校での良い教育手法を中学校にも取り入れる。テトルの利用方法に関する説明会を開く。</p> <p><b>グループ2: 生徒の参加とモチベーション</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ポジティブ: 生徒のモチベーションを保つためのリーダーシップ支援の要望。</li> <li>・ ネガティブ: 学習発表会での全員の不参加。</li> </ul> <p>対応策: 生徒がイベントに参加しやすい環境を作る。リーダーシップ能力を持つ生徒へのサポートを強化する。</p>				<p>【パイロット的な取組の段階】 ② 使い方を学ぶ段階</p> <p>【実践概要】 12月にとった「学校評価アンケート(保護者の声)」を生成AIに分析と対応策を提案してもらった。</p> <p>【入力したプロンプト】</p> <p>#命令書: あなたは優秀な中学校の管理職です。 以下の制約条件、分析対象データをもとに、分析結果を出力してください。</p> <p>#制約条件: ・分析対象データをKJ法でまとめること ・グループは5つ程度にまとめること ・ポジティブな回答とネガティブな回答を抽出し、さらにそれらの対応策を提案すること</p> <p>#分析対象データ: (アンケートのテキストデータ)</p>
<p>上記のように[グループ3安全と健康]、[グループ4親とのコミュニケーション]、[グループ5地域との関係]のテーマで分析・対応策が提案された。</p>				

## 実践のふり返し

【成果】生成AIを使用し、記述回答テキストを迅速に分析し、5つのグループに分けて提示した。この分析結果を基に、職員間で成果、課題、対応策について議論を行えた。グループ分けされたデータから議論を始めることができたため、討議の効率が向上した。

【課題】今後は生成AIを用いたアンケート分析を継続し、より効果的なプロンプトの設計について改善を重ねる必要がある。